

令和6年総会及び都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会  
木村浩美

日時:R6.6.21 10:30~16:00

場所:品川フロントビル

## 1. 総会

- ・2023 年度事業報告及び決算報告
- ・トリプル改定に向けての要望書や意見書の提出と伴う会議開催、会員への情報発信
- ・小児訪問看護の量的拡大及び質的向上の推進
  - 情報交換会(12/9) 224名参加
  - 小児訪問看護研修プログラム説明会(10/13) 54名参加
- ・精神科訪問看護の質の向上
  - 精神科訪問看護推進部会を立ち上げ、検討 研修会開催やコンサルテーション実施
- ・広報出版 訪問看護ニュース～オールカラーへ
- ・災害への支援
  - 全国に発生した地震・台風・豪雨等災害9件に、情報発信した
  - R6.1.1 能登半島地震へは、8012536円の支援金を石川県訪問看護ステーション連絡会を通じて被災事業所へ配布

## 2. 都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会

- ・講義:訪問看護における DX (けいわ訪問看護ステーション大分 佐々木真理子)
  - 法人、ステーションも含めて、クラウドを介して医療介護情報システムを導入し、労働環境改善、看護の質確保・向上、生産性向上、地域ネットワークに活用している
- ・ブロック会議 九州+沖縄=8 県で話し合う
  - テーマ:DX,ICT 活用について
    - 事業所により、職員への携帯等支給がまばらな状態
    - 利用者個人情報の管理を厳しくしないと自分勝手に支給携帯も使用する
    - 業務上、個人携帯を使用する事業所も多い
  - テーマ:訪問看護の質について
    - 各県共通の課題:訪問看護の制度を理解していない事業所の稼働が増えている
    - 過度な広報や節度のない営業に、ケアマネや主治医からの苦情もある
    - 連絡協議会へ入会しない単独事業所への指導は苦慮する
    - 開設者向けの教育指導の体制が無い
    - 小規模事業所が多いので、災害対応、質の担保のために複数の協働を勧める
- \* 連絡協議会活動の広報に力を入れる
- \* 九州ブロック会議(担当:鹿児島県)を秋に開催予定